

『守り・育て・受け継がれる技術、手仕事 ～伝統工芸と建築～』

基調講演 石川らしい文化でおもてなし
北陸新幹線金沢駅舎は伝統工芸による
「美術館のような金沢駅」

2023.7.29 sat 15:30～17:00 (OPEN 15:20)
金沢市文化ホール 大ホール



伝統工芸が創る「文化の重層」による空間づくりとは

講師 大場 吉美 金沢学院大学名誉教授

1946年金沢生まれ。金沢美術工芸大学・産業デザイン学科卒業後石川県を中心にデザイナーとして、平面から空間デザイン、イベント計画演出まで多様な表現活動を展開し、デザインの啓発に尽力。金沢市民芸術村の創設に係わるほか、金沢21世紀美術館の交流アドバイザー担当となる。数多くのプロデュースや企画デザインを実施すると共に、ニューヨーク、エジンバラ、北京などで、石川のグラフィックデザイン展をコーディネートする。

金沢学院大学名誉教授として、多年にわたりデザイン教育に携わっている。また洋画家として石川県美術文化協会の理事長の任を受ける。



『守り・育て・受け継がれる技術、手仕事 ～伝統工芸と建築～』

日本はそれぞれの地域において、古くからの伝統を大切に守り・育て・受け継いできました。それは、「衣・食・住」それぞれを彩る心と共に絶えることなく現代の暮らしの中にも活かされています。その中でも建築はたくさんの時間と人により守り、育て、受け継がれ、空間に美しさや潤いを与え、使い手の心を豊かにしてくれています。それぞれの地域に根付く技術や手仕事について再認識し、更なる活用を模索しながら継承につなげる機会としたいと考えています。

■ プログラム

7月29日（土）

- 14:15～14:45 開会式
- 14:45～15:00 被災地報告
- 15:00～15:15 活動報告
（休憩）
- 15:30～17:00 基調講演 講師：大場 吉美 氏
- 17:00～17:05 第65回全国大会しずおか大会案内
- 17:15～18:00 交流会

7月30日（日）

- 9:00～11:00 分科会（テーマ：A～F）

A：あつまれ～旅好き建築女子！

「魅力ある和の空間ガイドブック」part5

B：「バリアフリーのまちづくり/みんなで考えるバリアフリー」

C：「いばらき木造塾」～伝統技術の継承～

D：「住まい・まちづくりを考えよう」小中学生の住教育出前講座

E：「徳島型気候風土適応住宅」基準策定への取組

F：「灯台が照らし出す未来への道すじ」

- 11:15～12:00 全体会・閉会式
- 13:30～16:30 エクスカーション
（伝統工芸体験、建築物見学など）

※ 建築士会会員以外の方でエクスカーションに参加を希望される方は事務局にお問い合わせください

- 参加費 建築士会会員 会場参加：¥3,000 一般（会員以外） 会場参加：¥4,000 学生：無料
Web参加：¥1,500 Web参加：¥2,500

■ 参加申込み

建築士会会員の方は、所属の都道府県建築士会女性委員会宛にお申し込みください
一般（会員外）の方、学生の方は、6月9日（金）までに公益社団法人日本建築士連合会宛に下記FAX
またはメールにてお申し込みください 分科会の希望は第2希望までお書きください

氏名・ふりがな	連絡先	e-mail	種別	参加方法	分科会 第1希望	分科会 第2希望
			一般・学生	会場・web		
			一般・学生	会場・web		

企画・主催・問い合わせ先
公益社団法人日本建築士会連合会 事務局
TEL：03-3456-2061 FAX：03-3456-2067 E-mail jigyo1@kenchikushikai.or.jp

■ アクセス

金沢市文化ホール

設計 芦原義信＋谷口吉郎建築研究所
1982年竣工

所在地 石川県金沢市高岡町15-1
TEL 076-223-1221



JR金沢駅より
タクシー約10分 バス約15分
金沢駅前（東口バスターミナル）
「南町・尾山神社」下車 徒歩約3分



会場アクセス